



秋田犬ツーリズム通信「奥秋田」

Vol.016

発行日：2026年10月26日

発行人：秋田犬ツーリズム

◆カナダ・ケベックで開催された「Adventure Travel World Summit」に参加



▲商談会の会場があるカナダ・ケベック

山形 DMC と観光分野で連携して活動している株式会社庄交コーポレーションと弊社のマタギコンテンツのガイドであるクウィンラン氏とともに、カナダ・ケベックで開催されたアドベンチャートラベルの国際商談会「Adventure Travel World Summit」に参加しました。現地での体験やセミナー、旅行会社との商談を通じて、東北の自然や文化を海外に届けるためのヒントを探りました。

実施期間 9月13日（日）～9月18日（金）

体験から学ぶ、地域の魅力の伝え方

初日は、ケベックの観光スポットから選んだプログラムを体験し、ホエールウォッチングにも参加。2日目のセミナーでは、自分たちが持つコンテンツを、旅行者にとって魅力的な体験としてどう伝えるかを学びました。また、先住民イヌイットの文化を観光資源として活用する取り組みについても話を聞き、自然とともに受け継がれてきた文化を伝えるという点で、マタギ文化との共通性を感じました。



マタギ文化・山伏文化に寄せられた関心

3日目の商談会では、アメリカ・カナダの旅行会社を中心に9社と面談。マタギや山伏をテーマにした体験に興味を示す声がありました。宿泊については、旅程の一部に4つ星ホテルを希望する一方、それ以外はゲストハウスでも対応可能との意見も。旅の内容に合わせた宿泊提案など、商品づくりに向けた具体的な条件も見えてきました。



▲旅行会社との商談の様子

商談会場の「JAPAN ラウンジ」でも情報発信

コンベンションセンター内の JAPAN ラウンジでは、訪れた旅行エージェントに向けて地域の魅力を説明しました。さらに商談会とは別に、自らメディア関係者へアプローチ。オーストラリアの雑誌や、ナショナル ジオグラフィック系のライターとも接点を持ちました。熊肉には慎重な反応があったものの、山菜採りや釣りには関心が寄せられ、東北そのものの魅力を感じていただけた手ごたえがありました。



現地での出会いを、次のツアーづくりへ

今回の参加を通じ、東北の自然や文化は、海外の旅行会社・メディアに向けて発信する価値のある資源だと改めて感じました。地域に根付く物語を、旅行者が実際に体験できる形に整え、今後の誘客や商品造成につなげていきます。



◆北海道・東北エリアDMO会議 i n 札幌に参加しました！



仕組みづくりの先にある、地域での実践

札幌で開催されたシンポジウムに参加し、DMOによる観光地域づくりや地域マネジメントのあり方について学びました。講演を通じて印象に残ったのは、仕組みを整えること自体を目的とせず、地域の現場で活用し、成果につなげていくことの大切さです。

9月14日（月）主催：公益社団法人日本観光振興協会

先駆的DMO事業について

一般社団法人倶知安観光協会の鈴木紀彦氏は、地域に訪れる人々のマネジメントを担うDMOの取り組みを紹介。プロモーションにとどまらず、来訪者を受け入れ、地域全体で対応する視点が示されました。

地域マネジメントの現状

リージョナルリング株式会社の丸野敬氏は、DNPの事例などを交え、データ活用と地域への実装の重要性を解説。仕組みをつくるだけで満足せず、地域の実情に合わせて活用すること、Google検索など身近なデータを出発点にする視点が印象に残りました。

北海道と東北ではターゲットが異なる。それぞれの強みを活かして

【北海道】

- ◆冬のスキーが軸。
- ◆ターゲットはオーストラリア
- ◆二次交通が充実。
- ◆宿泊税を活用し住民へ還元。

【東北】

- ◆夏の観光が軸。
- ◆ターゲットはアジアが主。
- ◆二次交通に課題。
- ◆宿泊税は未実施が多い。



▲「意見交換会」の様子

今回の学びを地域の実践へ

地域ごとの強みや課題を踏まえ、データを活用しながら、住民にもメリットが届く観光地域づくりを進める必要性を感じました。仕組みを整えるだけでなく、地域に根づく取り組みへつなげていきたいと思います。

◆日本政府観光局（JNTO）主催交流会 i n 福島に参加しました！



JNTO ロサンゼルス事務所の事業として、アドベンチャーツーリズムをテーマに、米国の旅行会社4社4名が福島・山形・新潟・群馬を巡るFAMツアーを実施しました。これに伴い、10月1日（木）、福島市内で東北の観光関係者との個別商談会および交流会が開催されました。

秋田犬ツーリズムを含む日本側5団体が参加し、海外旅行会社との商談を通じて、東北の観光コンテンツを紹介しました。

なかでも関心を集めたのが、マタギ文化です。参加者からは「聞いたことがなかった」との声があった一方、内容を紹介すると強い興味が示され、「ぜひツアーに組み込みたい」との反応もありました。また、樹氷や曲げわっぱ、レールバイクにも関心が寄せられました。

マタギ文化は海外ではまだ広く知られていませんが、その背景や体験の魅力を伝えることで、米国市場にも十分に訴求できる可能性を感じました。今回の商談で得られた反応を、今後のツアー造成や海外への情報発信につなげていきます。

◆北秋田市主催の台湾トップセールスへ参加しました！

台湾・高雄で観光セミナーを開催。新たな旅行会社との関係を構築



▲台湾スキー協会訪問の様子

め、現地旅行会社 15 社 16 名が参加しました。経営層や日本旅行の商品企画・手配担当者、当地域の魅力を直接伝える機会となりました。

セミナーでは、羽田空港を経由した大館能代空港へのアクセスに加え、秋田内陸線や森吉山の樹氷など、北秋田市の観光資源を紹介。当法人からは、秋田犬の里、きりたんぼ作り、大館・小坂鉄道レールバイク、十和田湖の水上アクティビティなど、周辺地域も含めた多彩な観光・体験コンテンツを提案しました。

今回の大きな成果は、これまで接点のなかった高雄市を拠点とする旅行会社と交流を深め、新たな関係を築けたことです。懇親会での交流を通じ、今後の商品造成や送客に向けて、継続的に地域の情報を届けられるつながりができました。

台湾南部への販路拡大に向けた足掛かりとして、今後も各社への情報提供や旅行商品造成の支援を行い、地域の宿泊施設や体験事業者への誘客につなげていきます。



▲観光セミナー&懇親会の様子

◆令和 8 年度秋田犬ツーリズム第 3 回理事会開催しました！



10 月 15 日（木）、大館駅なか交流センターを会場に、第 3 回理事会を開催しました。

理事会では、令和 8 年度上半期における観光・物産事業の進捗状況を報告しました。

観光部門では、地域の観光資源を把握するための調査・マーケティングをはじめ、地域の特色を生かした観光コンテンツの造成、国内外に向けたプロモーションの取り組みについて説明しました。

物産部門では、朝採れ枝豆の販路拡大に向けた事業の実施状況や、EC サイト「こだわり AKITA セレクトショッ

プ」の販売実績、商品展開などについて報告しました。

また、令和 9 年度の事業計画および収支予算について方向性を共有し、次年度に向けた取り組みについて協議を行いました。

今後も地域の関係者と連携し、観光と物産の両面から地域の魅力を発信するとともに、地域の発展につながる事業に取り組んでまいります。

◆技能実習生ツアー 2026 開催しました！



▲りんご狩りを楽しみました！

大館の魅力をめいっぱい体感！

10月4日（日）、技能実習生を対象とした交流ツアーを開催し、4社から14名が参加しました。

本事業は、大館市が「外国人従業員日帰りフィールドワーク事業」として実施しているもので、市内で働く外国人従業員を対象に、体験活動や地域交流を主体としたフィールドワークを通じて、当地域への愛着を高め、地元企業への人材定着を図るとともに、体験内容の情報発信

を通じて新たな実習生の確保につなげることを目的としています。秋田犬ツーリズムもこの趣旨に賛同し、委託を受けて運営しています。

当日は、りんご狩りからスタートし、大館駅なか交流センターでボッチャを楽しみ、参加者同士の交流を深めました。昼食は「秋田比内や」で地域の味を堪能し、午後はふるさわおんせんで秋田犬とのふれあいを体験しました。参加者は秋田犬のそばに座り、毛並みに触れるなど、間近でその魅力を感じていました。ツアーの最後は大館・小坂鉄道レールバイクで地域ならではの体験を楽しみ、大館の魅力に触れる一日となりました。



▲ボッチャも体験！

参加者からは「また参加したい」という声が多く寄せられ、今回も満足度の高いツアーとなりました。体験を通じて技能実習生同士の親睦が深まるとともに、大館の食や自然、秋田犬など、地域の魅力を知っていただく機会となりました。今後も本事業に協力していきたいと思ひます。



▲秋田比内やさんの親子丼を堪能！



▲秋田犬との和やかな時間も。



▲レールバイク楽しいー！

◆ALL秋田旅行エージェント商談会 in 東京 2026 に参加



秋田県内の観光資源や旅行商品の魅力を旅行会社に紹介し、今後の旅行商品造成や誘客につなげることを目的に、10月5日、東京都内で「ALL 秋田旅行エージェント商談会 in 東京 2026」が開催されました。

会場には、観光協会、宿泊施設、飲食施設、交通・運輸、物産、行政関係など約40のブースが並び、多くの旅行会社関係者との商談が行われました。

秋田犬ツーリズムでは大館市と共に参加しました。ブースには約14社が訪れ、農泊を中心に、地域ならではの観光資源や滞在の魅力を紹介しました。商談の中で、関心を集めるキーワードとして繰り返し挙がったのが「秋田犬」です。この地域の観光を提案するうえで、秋田犬が強い訴求力を持つことを改めて実感しました。また持参した現在計画中である秋田犬と一緒にバスの旅をする企画の案内チラシ約30部は、閉会を待たずにすべて配布を終えました。秋田犬と地域の観光を組み合わせた新たな旅の提案にも、旅行会社から関心が寄せられました。今回の商談会を通じ、この地域の誘客において秋田犬が大きな役割を担っていることを再認識しました。今後も秋田犬の魅力を生かした観光商品の造成と情報発信を進め、地域への来訪者増加につなげていきます。

◆上小阿仁村「畑の学校 5 回目」に参加しました！



▲えごまの木を棒でたたいています。

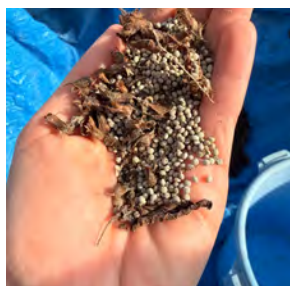
畑で学び、つくって、味わう

10月18日（日）、上小阿仁村で開催された「畑の学校」第5回に参加し、21名でえごまの収穫を体験しました。

畑では、えごまの木を棒でたたいて実を落とし、バケツに集めて選別。その後、キッチンで実を洗い、乾燥させるまでの工程を体験しました。普段はなかなか知ることのできない収穫から下処理までの作業を通じて、食材が食卓に届くまでの手間や工夫を学ぶ機会となりました。

作業の後は、畑で採れた食材を使った料理を味わいました。とうもろこしの炊き込みご飯や、えごまの葉で巻いたオクラの炒め物などが並び、えごまも振る舞われました。さらに、畑で収穫した辛みのある赤い大根も料理に添えられ、採れたての食材ならではのおいしさを楽しみながら、参加者同士の交流も深まりました。

「畑の学校」も残すところあと1回。最後までえごまの栽培や収穫を通じて、畑から学ぶ楽しさを味わっていききたいと思います。



▲「えごま」の実



▲赤い大根を収穫

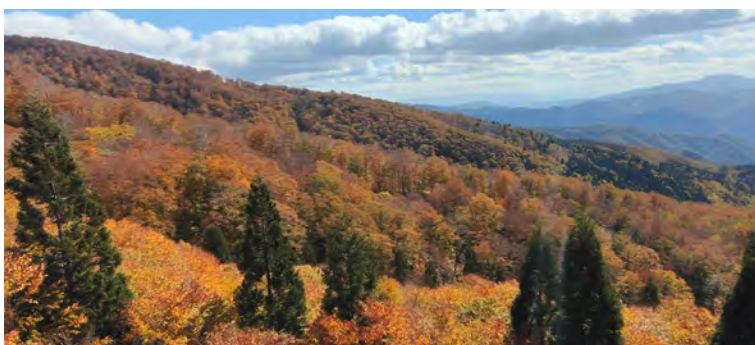


▲えごまの実を洗います



▲とうもろこしご飯も！

◆季節の写真～秋色に染まる森吉山～



▲錦秋の森吉山。秋の深まりとともに美しい紅葉に包まれます。

紅葉シーズンを迎えた森吉山。山々が秋ならではの美しい彩りに包まれ、季節の移ろいを感じさせる風景が広がっています。今回は、森吉山で撮影した紅葉の様子を写真でご紹介します。



◆イベント情報 ～地域のイベントをご紹介します～

10月16日（金）～翌1月11日（月） 上小阿仁村写真展

※ 2026年10月26日現在 秋田犬ツーリズム調べ
詳細につきましてはお問い合わせ先へお願いいたします。

上小阿仁村の四季の魅力を写真で紹介する「令和8年度 上小阿仁村写真展」が開催中されています。

豊かな自然に恵まれた上小阿仁村。春の新緑、夏の爽やかな風景、秋の鮮やかな紅葉、冬の幻想的な雪景色など、四季折々の美しい表情が写真に収められています。

村の魅力を再発見できる、心に残る風景の数々をぜひご覧ください。

【展示期間】 10月16日（金）～翌1月11日（月）

【展示場所】 道の駅かみこあに情報休憩室

【問い合わせ先】 上小阿仁村観光協会

TEL：0186-77-3238



11月7日（土）

めざせ100人！小坂駅へみんなで集合！集合写真撮影会

2026年11月7日（土）、小坂鉄道レールパーク・旧小坂駅前において、「集合写真撮影会」が開催されます。

小坂町民の方、小坂にゆかりがある方、小坂が好きな方、これから小坂と関わってみたい方など、どなたでも参加できます。目標は100人集合！

撮影した写真は、東京・京橋で開催される写真展「だれかのふるさとと出会う旅」にて展示した後、小坂町でも展示予定です。

当日は、懐かしの旅客車両「キハ」も小坂駅へ入線予定です。



【開催日時】 11月7日（土）13：00 受付開始 13:30～14:00 撮影

【開催場所】 小坂鉄道レールパーク・旧小坂駅前

【対象】 小坂町民、小坂にゆかりや関心のある方など、どなたでも

【参加費】 無料・当日申込 【撮影】 千葉裕之さん（小坂鉄道保存会会長）

※撮影会への参加は、「参加申込書兼同意書」への記入が必要です。用紙は会場にもご用意します。

～撮影後のお楽しみ～

集合写真の撮影終了後の14時頃から、参加者を対象とした「なべっこ交流会」。

「小坂鉱山鉄道鍋」の試食を予定しています。※中止・変更がある場合は、地域おこし協力隊 Instagram および、小坂鉄道レールパークホームページにてお知らせします。

小坂町地域おこし協力隊 Instagram (<https://www.instagram.com/kosakakyouryoku/>)

お問い合わせ先：小坂町役場 観光産業課 観光商工班

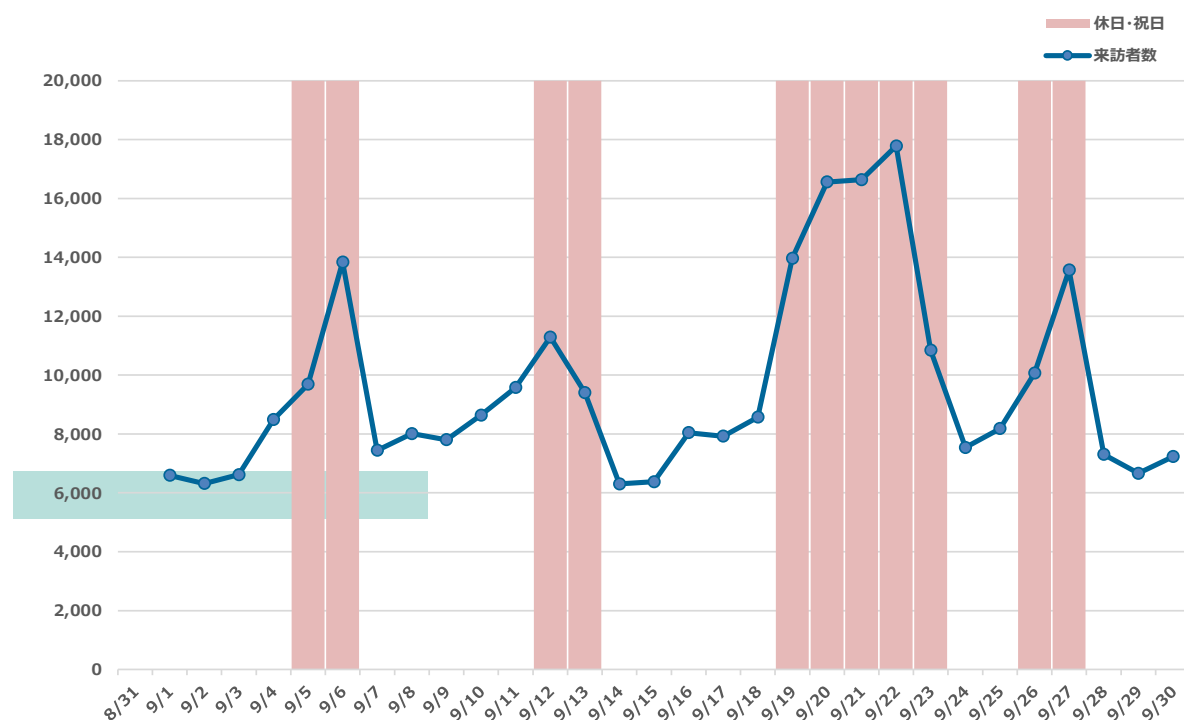
TEL 0186-29-3908

◆来訪者数データ速報（出所：東北観光 DMP（Agoop 社データ））

秋田犬ツーリズムではビッグデータを活用したマーケティングを行っています。スマホ GPS データを基に計測した当地域への来訪者数の速報値を毎月お知らせします。※注：数値は拡大推計されており、実数ではありません。外国人客および各市町村の居住者を除く数値です。

9 月の日別延べ来訪者数（日帰り＆宿泊）

9 月は、19～23 日の連休を中心に来訪者数が大きく増加し、特に 20～22 日は 1 日あたり約 16,600～17,800 人と高い水準で推移しました。この期間は道の駅（道の駅十和田湖、道の駅ひない、道の駅あに）や「秋田犬の里」で顕著な増加が見られ、その他の期間と比べた増加率は、約 3 倍（4 施設平均）となり、車移動を中心に連休を利用した周遊観光の傾向がみられました。



9 月の 1 日あたり平均来訪者数は、平日約 7,600 人、休日・祝日約 13,100 人となりました。

前年同月比は平日 114%、休日・祝日 139%と、いずれも前年を上回りました。特に休日・祝日は前年から約 40%増と伸びが大きく、19～23 日のシルバーウィークで来訪が集中したことが、平均値を押し上げました。

	全体平均	平日	休日・祝日
1日あたり平均人数	9,575	7,559	13,058
前年同月 1日あたり平均人数	7,553	6622	9415
前年同月比	127%	114%	139%



私が担当しました！



◆「こだわり AKITA セレクトショップ」のおすすめ商品をご紹介します！



小坂町の懐かしい
おいしさを一箱に。

¥1,600 (税込)
税率 8%

「ふるさと小坂セット なっかしのお菓子詰め合わせ」

豊かな自然に育まれた小坂町から、昔ながらの懐かしいお菓子を詰め合わせた一品が誕生しました。地元ならではの素材や伝統の味わいを楽しめる、4種類のお菓子をご紹介します。

◆ アカシアせんべい

小坂町産の希少なアカシアはちみつを練り込んだ手焼き煎餅。花を思わせるやさしい香りと、まろやかな甘み、軽やかなサクサク食感が魅力です。素朴ながらも、素材の風味を感じられる味わいです。

◆ みそぱん

ふんわりと焼き上げた生地、甘じょっぱい味噌の風味が広がる昔ながらのお菓子。どこか懐かしく、ほっと心が和む味わいで、子どもから大人まで親しまれています。

◆ もろこし

秋田を代表する伝統菓子のひとつ。口の中でほろりとほどける繊細な食感と、上品な甘さが特徴です。温かいお茶とともに、ゆったりとしたひとときをお楽しみいただけます。

◆ あかしあドーナツ

アカシアはちみつを生地と餡に使用した、やさしい甘さが魅力のお菓子。しっとりとした生地となめらかな餡が調和し、豊かな風味が口いっぱいに広がります。イベントでも人気を集める、小坂町ならではの一品です。



こちらから
アクセス！

- 編集後記 -

紅葉が美しい季節になりました。朝の通勤で樹海ラインを走ると、色づいた木々が目に入り、秋の訪れを感じます。毎朝この景色を眺められるのは、なんとも贅沢なことだなと思います。もっとも、帰りはすっかり暗くなってしまい、紅葉を楽しめないのですが（笑）。

季節はあっという間に移り変わり、気づけば景色も変わってしまいます。だからこそ、今しか見られない景色や体験を大切に、日々を楽しんでいきたいと思います。

それにしても、最近は急に寒くなりましたね。もう少しゆっくり寒くなってくてもいいのと思う今日この頃です。



HPはコチラ

